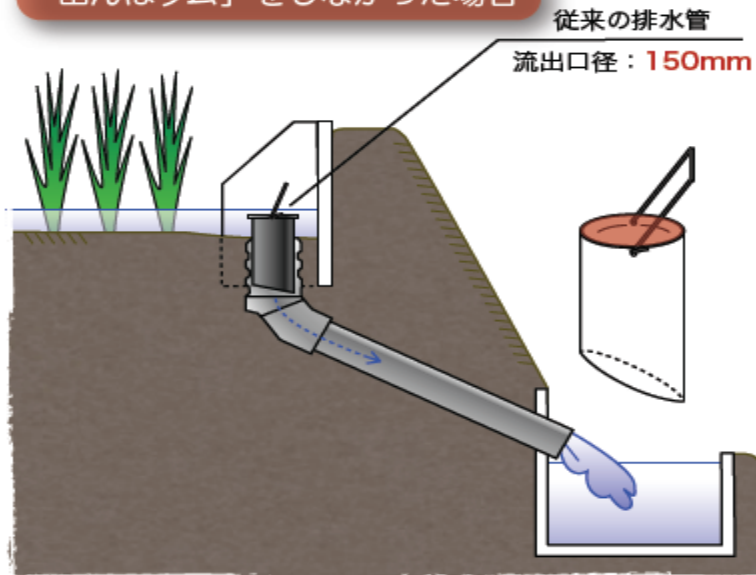


田んぼダム①

「田んぼダム」とは？

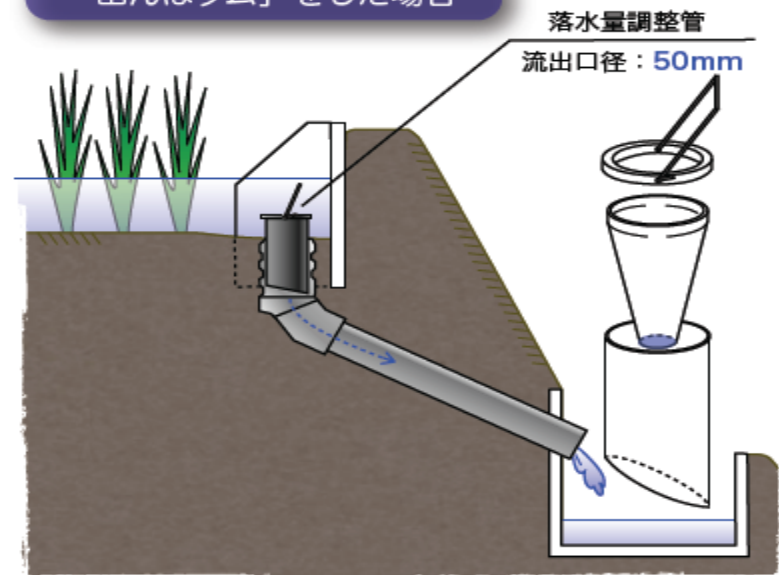
田んぼの排水口径を、従来の**150mm**から**50mm**に縮小し、大雨が降ったときに田んぼに一時的に水を貯めることで、**洪水被害を軽減する取組**です。見附市は、**新潟県内一**の取組面積（約1,200ha）を誇ります。

「田んぼダム」をしなかった場合



- 水田に降った雨は速やかに排水され、河川・排水路の増水を招き、氾濫の危険性が高くなります。

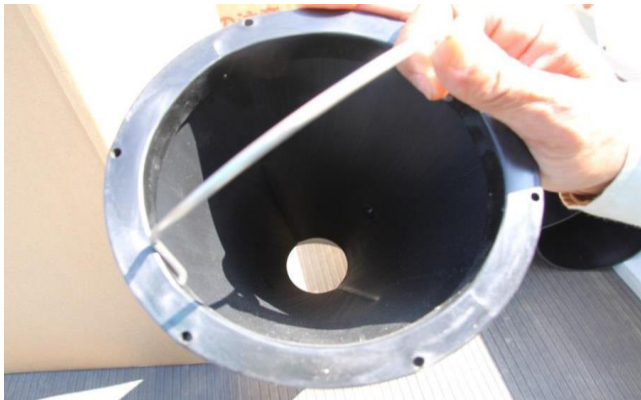
「田んぼダム」をした場合



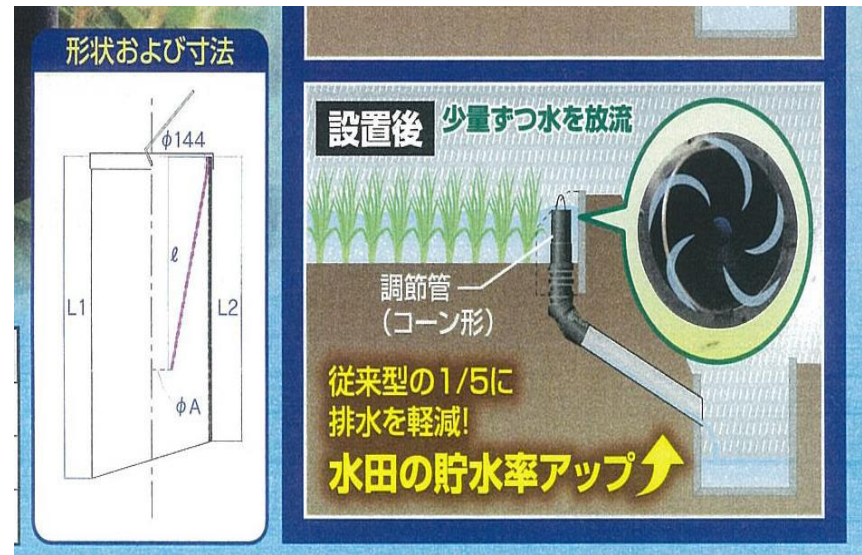
- 雨水を水田に一時的に貯めて、時間をかけて少しずつ流すことによって、河川・排水路の増水を軽減します。

田んぼダム②

田んぼダムは、水田が元々持っている「貯水機能」を利用して、大雨の際に一時的に水を貯め、時間をかけてゆっくり排水し、河川流域の農地や市街地の洪水被害を軽減するものです。
見附市では現在、市内1,200haの水田に下の写真のような「水位調整管」が設置されています。



水位調整管(見附モデル)



調整管により水田の排水を一定に制限